「連携ありき」で考えない

電気通信大学 三輪 忍

連携会議のメリット/デメリット

+ 異分野交流

+ 運営コストのスケールメリット

- 意見集約が困難

「今後」に対する私見

- 「連携ありき」で考えない
 - 意見が集約しないのはある意味当然
 - 回路から HPC までさまざまな分野の研究会/国際会議に参加したが、置かれている状況は分野/立場によって異なると感じる
 - 他分野との交流は国内研究会でも十分可能
 - 例) SWoPP, ETNET, HOKKE, デザインガイア, HotSpa, ...
- 「分野毎に独立に運営し、連携できそうなら連携する」 でよいのでは?
 - FDRC とか HPCA-CGO-PPoPP のイメージ
 - 運営コストのスケールメリットはあまりないが、分野毎に需要 にマッチするサービスを提供できるメリットの方が大きい

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
研究会	HotSpa		••		 		i !		! ! !		 			ARC主催
	SWoPP			 	•••	•••			T	 		 		ARC主催
	10月研究会			 	 	 	•	••	†		 		 	ARC主催
	デザインガイア			 	!	!		•••	•••	 	 	!	 	ARC主催
	1月研究会			'	! !			 	!	•	••	!		ARC主催
	ETNET	·		;	 	i	; 		; ! !	; 	;	•	•••	ARC主催
査読付国際WS	ISCA併設			•••	 	 	1	 	 	 	 	1	 	
	MICRO併設			 	(•	1 ! ! !			; ;	 	
	HPCA併設			 	 	<u> </u>	- 	+ 	†	-	-		 	
	PACT併設			 	!	-	⊣- ▶	+ ! ! !	 	 	 	1 	 	
	ASPLOS併設			 	!	!			†		 	•	⊣	
国際会議 (採択率不明)	HotChips								! !				-	実チップ
	COOLChips			;					 			•		日本主導
国際会議 (採択率±40%)	CANDAR				-		 -	•••••	•••••		! ! ! !			日本主導
	CF	• • • • •	••	 	 	!	 		 		•		-	
国際会議 (採択率25-35%)	ICCD							•••	! !	! !	!			
	Euro-Par		•••••			•••		 	 	 	 	-		
	ISLPED		••••		••	i	 		; 	;	;	i	•	省電力
	DATE			 	!	i !	•						••	回路寄り
	ASP-DAC			 	!	•	.				•••	 	 	回路寄り
	NOCS	+				•••••		L	 			•	!	ネットワーク
国際会議 (採択率+20%)	ICS		•••••	•••					! !		•	:		HPC寄り
	DAC		•••••	•••	 	i		 	; 	-	i i			回路寄り
国際会議 (採択率-20%)	ISCA	• • • • • •	•••••	•••	 	 		 	-	1	1 1	!		
	MICRO						•••••	•••	1	 ! ! !	F	 	 	
	НРСА			 		†	-					••••	 	
	PACT						•••			-	 		-	
	ASPLOS			 	 	-							••	OS寄り

アーキテクチャ分野において 需要があると思われる新会議

- ① 研究会~国際WS or 国際会議の間を埋める何か
 - 例: 採択率8-9割の英文アブストのみの国際WS
 - 国内需要は多いと思われる
 - 修士以下の学生: 現実的な目標, (形式上の)業績
 - ・ 教員等の研究者: 若手の教育, 運営経験, (形式上の)業績
- ② アーキテクチャがメインの準トップ・カンファレンス (具体的には採択率が20%強の国際会議)
 - ISCA, MICRO, HPCA, ASPLOS にぎりぎり通らない論文を拾う
 - 今は DAC, DATE, ISLPED, ICCD, ASP-DAC あたりに分散
 - ・ 海外需要は多いと思われるが、 国内は?
 - 日本の論文は数件程度と予想
 - 実現性は???
 - これら以外は, 既存の会議を育てる or 利用すれば十分
 - あえて新しく始めるなら①がよいのでは?(個人的見解)